

2026 年 7 月 21 日

全国下水サーベイランス推進協議会と日本下水サーベイランス協会は、国土交通省技監および上下水道審議官に対し、下水サーベイランスの社会実装の推進に向けての提案を実施しました。

令和 8 年 7 月 21 日（火）、全国下水サーベイランス推進協議会と日本下水サーベイランス協会は「骨太の方針 2026」に国家安全保障政策の一翼を担う下水サーベイランスの社会実装が記載されたことを受け、国土交通省を訪問、廣瀬技監および石井上下水道審議官に対し、下水サーベイランスの社会実装推進に向けて以下の要望を行いました。面談には日本下水サーベイランス協会特別顧問の尾身茂氏（公益財団法人結核予防会理事長）にもご同席いただきました。

1. 国土交通省による令和 9 年度概算要求について

社会実装の本格化に向け、下水サーベイランス実装事業を創設いただきたい。

2. 全国モニタリング網（観測拠点）の構築について

感染症等の早期検知体制を強化するため、全国 47 都道府県に必ず 1 か所以上を配置いただきたい。県庁所在都市を中心に、全国で計 50 か所のモニタリング拠点を決定いただきたい。

3. 厚労省・国交省による「連携推進会議」の設置について

研究段階を脱し、確実な社会実装を推進するため、厚生労働省と国土交通省の両省による連携推進会議を設置いただきたい。

廣瀬技監からは、下水サーベイランスの重要性に理解を示していただきました。石井上下水道審議官からは、「厚生労働省とも協議を開始しており、社会実装に向けた必要な支援策を具体的に検討する」との前向きな回答をいただきました。

[要望先]：

- ・ 廣瀬昌由            技監
- ・ 石井宏幸            上下水道審議官
- ・ 松原英憲            大臣官房審議官（上下水道）
- ・ 本田 康秀            大臣官房参事官（上下水道技術）

[訪問者]：

- ・ 尾身茂                公益財団法人結核予防会理事長、

- 
- |         |                               |
|---------|-------------------------------|
| • 広瀬 米  | 一般社団法人日本下水サーベイランス協会特別顧問       |
| • 小林 博幸 | 前兵庫県養父市長、全国下水サーベイランス推進協議会特別顧問 |
| • 谷戸 善彦 | 一般社団法人日本下水サーベイランス協会副会長        |
|         | 全国下水サーベイランス推進協議会理事、           |
|         | 一般社団法人日本下水サーベイランス協会副会長        |



(写真：左から小林氏、谷戸氏、石井上下水道審議官、尾身氏、広瀬氏)